



安倍事務所が後援会員らを「桜を見る会」に招待したという決定的証拠を報じた「しんぶん赤旗」日曜版11月17日号

首相 明らかな虚偽答弁

安倍事務所参加募る

「桜を見る会」疑惑で、安倍首相の事務所が同会への参加を呼びかけた案内文書の存在を、「しんぶん赤旗」日曜版が報道しました（17日付）。首相は共産党・田村智子参院議員の追及に「招待者のとりまとめには関与していない」と答えましたが、虚偽答弁は明らかです。

『「桜を見る会」のご案内』と題した文書の差出人は安倍事務所。「出席をご希望される方は、2月20日までに別紙申込書に必要事項をご記入の

日本共産党

上、安倍事務所または、担当秘書までご連絡ください」と書かれています。桜を見る会とセットで「あべ晋三後援会主催 前日夕食会（会費制）」の記述もあります。

首相の地元事務所が招待者の取りまとめをしていた証拠。首相「推薦枠」で地元後援会員を多数無料招待していたとみられます。首相が知らないはずはありません。

「桜を見る会」



桜を見る会で参加者と記念撮影する安倍首相夫妻。4月13日、東京・新宿御苑。首相官邸ホームページより。画像は部加工

中止で済まぬ 首相責任

幕引き許さぬ

安倍首相は来年の「桜を見る会」の中止を表明しました。しかし解明すべき疑惑は次つぎ。これで幕引きなど、とんでもありません。疑惑は少なくとも3つ（右）。首相でなければ答えることができません。共産党の志位和夫委員長は衆参両院での首相出席の予算委員会集中審議の速やかな開催を求めました（14日）。

3つの疑惑

①「桜を見る会」を安倍後援会が私物化、税金で買収？②会費5000円、850人規模で開いた「前夜祭」の収支が、安倍氏関連の政治団体収支報告書に記載されていない③虚偽答弁——首相らに「推薦枠」があったのに「とりまとめに関与せず」と答弁（参院予算委）。【4面もご覧ください】

首相出席の 予算委速やかに

日本共産党